

令和7年度 静岡県サイクルウェルビーイング推進会議  
第2回企画戦略幹事会

(静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ政策課)

1 会議概要

- (1) 日 時 令和8年2月20日(金) 11:00~12:00
- (2) 場 所 静岡県庁別館9階第二会議室
- (3) 次 第 別添のとおり(P8)  
全体会のふり返り  
次期静岡県自転車活用推進計画骨子(案)  
今後の予定
- (4) 出席者 別添のとおり(P9)

2 委員意見

「次期静岡県自転車活用推進計画骨子(案)」

委員	内容
小倉委員	<p>個人的にはワクワクするような内容をたくさん盛り込んでいただいております。私が所属しているヤマハ発動機の出組も交えて提案と情報共有をさせていただきます。</p> <p>まず柱SDGs推進の中にある施策の利用拡大に、『多様なニーズに対応した自転車利用の促進』がありますが、子供や高齢者の方々に積極的に自転車を活用してもらうため、自転車を販売している会社としては、免許返納問題にも積極的に取組んでいきたいと考えております。具体的には70才から免許更新の際に高齢ドライバー講習が行われていますが、そこに自転車eバイクの体験会を設け、「こんなに楽に走れるものなんだ」、「自転車は面白いかも」とか、自転車の良さに気づいていただく場を提供したいと考えています。前回もお話しましたが、免許返納年齢が80才になる方が、いざ返納したとき、そこから自転車に乗るのでは非常に大変で、自転車屋さんの話ですと、免許返納に合わせて自転車を買うが、2年後ぐらいには綺麗な状態で戻ってくる話をよく聞きます。このため、免許を返納する10年ぐらい前から自転車に乗る機会創出に取り組んでいこうと考えているところです。</p> <p>続きまして、利用拡大の『山林、里山等を活用した自転車フィールドの整備促進』については、先進的で意欲的な施策で、素晴らしい取組になると思いますし、私もしっかりと取組んでいきたいと考えております。</p> <p>情報共有になりますが、森町で地域包括連携協定を基に実際に山道の赤道を、地域の皆さんの合意を得てマウンテンバイクに利用することを、今年の4月からスタートする予定です。そこに至るまで</p>

委員	内容
	<p>のプロセスなど皆さんと会話をする中で、ポイントは押さえていますので、今後ぜひ静岡県内で広げる上でノウハウ的な部分も共有し、しっかり広めていきたいと考えています。</p> <p>3番目は、SDGs推進の走行空間整備です。国の第三次自転車活用推進計画の骨子案にある強化または追加する施策の中に、『公園等の活用による安全に自転車に乗れる環境の創出の促進』が追加されています。静岡県内にも都市公園、運動公園が各地にあると思いますので、公園の一部を活用して自転車に乗れる環境を作っていけたらと思っています。</p> <p>実際、今度森町のアクティ森で自転車の乗れるコースを作り、高齢者の免許返納にも対応し、一度自転車に乗って面白いと感じてもらえる環境を整備していこうと考えております。</p> <p>話が前後になりますが、先ほどの山道の活用では、産業展開にもある大会・イベントの開催やサイクルツーリズムの推進にも、積極的に取り組んでいきます。山道の活用にはツーリズムとしてインバウンドの方にも十分価値があると考えており、そこにも関与、寄与していきたいと考えております。</p> <p>最後に、これは余談的なものなのですが、AIカメラによる自転車利用を定点カメラで観測されているデータをつけていますが、獣害被害軽減のデータ取りにも活用できないかと考えており、山林内で獣害がひどいところでは行政の皆さんが、定点カメラを置いて、実際にシカやイノシシがどのくらい出るのかを計測されていますが、今後、マウンテンバイクの利用を行政の皆さんと一緒に導入し、マウンテンバイクが山道を走ると、シカやイノシシの出現率をどの程度下げられるかを継続して観測していこうと進めています。</p>
溝畑委員	<p>まず計画が体系的にコンパクトにまとめられています。その上でまずサイクルツーリズムですが、外国の方が来た際、グループで周遊してもらおうことを考えると、ガイドの育成が一番大事であると考えています。</p> <p>次に、愛媛県では、バスや電車等の公共交通機関で自転車の乗り入れができますが、自転車を公共交通機関を使用して移動できるサービスを充実していくことが大事だと考えています。</p> <p>3つ目は、憧れの人やスターが必要だと思います。オリンピックのノーボードを見ていると、金メダルを取った姿を見るとやる気が湧いてきます。ツール・ド・フランス見ると格好良い選手がいて、憧れを覚えます。だからプロスポーツ業界にもスターとなるような戦略を考えて欲しいと思います。</p>
宮内委員	<p>自転車活用推進計画骨子の4ページに記載のある活動指標の中に自転車ネットワーク計画を位置づけた自転車活用推進計画策定市町数とあります。これまでは自転車活用推進計画に位置付けた自</p>

委員	内容
	<p>転車ネットワーク計画とされていましたが、自転車活用推進計画と自転車ネットワーク計画が別々に策定できるようになりました。策定する自治体数が少ないため、国が別々に策定できるようにしました。このため、指標としては、自転車活用推進計画と自転車ネットワーク計画でそれぞれ分けた方が良いと思います。</p> <p>静岡県内では 11 市町が自転車活用推進計画を策定済みですが、中東遠地域が空白地帯です。太平洋岸自転車道等も通過している地域ですので、頑張って策定を是非進めていただければと思います。</p> <p>次に 5 ページの災害発生後における自転車活用ですが、国の第 3 次自転車活用推進計画の素案にも入っていますが、防災計画上で自転車が乗行禁止に指定されている道路があるため、災害時の自転車活用を検討する場合は、防災担当の部署と連携して進める必要があります。また浜松市・湖西市で災害時自転車活用社会実験が実施して報告書が公表されていますので、参考にいただければと思います。</p> <p>次に 6 ページにある交通安全指導の実施ですが、テキストだけでは効果が薄いため、街頭指導を並行して行うことはとても重要です。</p> <p>次に 8 ページにある産業展開ですが、国が指定するサイクルツーリズムの推進モデルルートが、静岡県内には 5 ルートあり、高い整備レベルに達しています。「塩の道」ルートもこれから整備を進められるので、このモデルルートを指標に設定すべきと思いました。</p> <p>あとは、PR の点で、静岡県には台湾事務所がありますので、その優位性を活かして台北サイクルへの出展を継続して自転車ブームに湧く台湾からの誘客を狙うのが良いと思います。</p>
中山委員	<p>5 ページに「山林、里山等を活用した自転車フィールドの整備促進」とありますが、2024 年から一人あたり千円取られている森林環境税をスポーツツーリズムへ活用できないか検討いただきたいです。</p> <p>次に 9 ページの冒頭に東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催地ブランドとありますが、今年 9 月に開催するアジア大会がも入れて欲しいです。</p> <p>これに伴ってスポーツ合宿誘致に関係してきますが、静岡会場で事前合宿をやりたいとリクエストもきているようで、国際大会の中でアジア大会は非常に大きな要素でもあり、アジア諸国に大きなインパクトを与えるのではないかと思います。</p> <p>あと、サイクルトレイン等の公共交通機関と連携していくことは重要であると思いました。現在全国で 60 路線ぐらいのサイクルトレインがあります。静岡県内でも伊豆の方で活発に動いていますが、コロナ以降どんどん増えていますので、自転車への注目はあが</p>

委員	内容
	<p>っているという認識です。</p>
野寺委員	<p>先ほど、スター選手の話がありましたが、自転車競技は、世間の認知度が低く、日本のプロ選手は実業団しかなく本当のプロとは言えず、ヨーロッパのチームに所属している人もほんのわずかという状況です。このため、ロード競技だけで食べていける人はほとんどいません。</p> <p>静岡県にもレバンテフジ静岡がありますが、それだけでやっていくことは難しく、企業がバックアップ等をしていく必要があると考えているところです。</p> <p>あとは、一般の人に触れるようなPRが必要だと感じています。来週、富士山サイクルロードレースが開催されます。国内の実業団チームにかなり多く参加してもらうので、目に触れる機会になればと思っています。</p> <p>次に9ページの『ジャパン・マウンテンバイク・カップの開催』は、我々も関わりますが、このような場でも自転車の魅力を発信していきたいと考えています。</p> <p>それから、静岡県自転車競技連盟代表理事になっていますが、本職は東芝系の会社に勤めているソフトウェア技術者で、個人的に自転車競技の魅力発信演出の検討の新技术・eスポーツにはすごい興味があります。連盟のホームページにも Google のストリートビューを活用して、静岡周辺の道路を自由に走れるアプリケーションを個人的に作っているところです。</p>
都築幹事長	<p>先ほど溝畑委員の御意見もありましたが、やはり自転車の魅力をどう発信していくかがすごく大事だと思います。やっぱりそこが競技者にスポットを当てるのが難しく、あとは大会であるとか、今いただいたeスポーツという新たな切り口がありますので、我々としてもリアルとバーチャルの両方に力入れていきますので、また改めてご助言いただければと思います。</p>
大石委員	<p>野寺委員からのアプリケーションを作っている話ですが、大阪万博関係で連携したワンダービジョンという会社が、同じようなことを実施しておりますので、もしよかったら野寺委員の御助言をいただくと静岡独自のアプリケーションができると思いますのでまた御協力をお願いしたいと考えています。</p> <p>溝畑委員からのガイド養成についても非常に重要なものと考えており、以前、井熊委員の静岡県サイクルツーリズム協議会と連携しながら、静岡県版のガイド養成のプリントを作っておりますので、これを静岡県内で活用していければと考えています。</p> <p>しかし、インバウンドに向けたガイド養成は、困難で今後検討していく必要がありますが、インバウンド側も日本語ができるガイド</p>

委員	内容
	も来るため、そこでローカルガイドと連携していけば、インバウンド向けのサイクルツーリズムも進んでくるのではと考えています。
石垣委員	<p>自転車走行空間の計画的な整備で、インバウンドのガイドサイクリングを実施している際、自転車で車道から歩道に走る部分を変える場合がありますが、車道から歩道に上がる際、段差があるためスムーズに上げれなく、タイヤが取られて転倒するお客様がいます。</p> <p>スムーズに行けるよう段差を解消いただけるとありがたいと思います。</p> <p>先ほどのガイド養成についてですが、弊社の場合インバウンドのお客様をガイドすることが多いため、英語やフランス語を喋れる方をお願いしていますが、自転車も乗れて外国語も喋れる人は多くありません。若い人に自転車ガイドをお願いすることがありますが、チェーンが外れたときに対処ができない場合があります、このようなところから教育していく必要があると感じています。外国語、ガイド、自転車ができる人は、とても少ないと感じています</p> <p>あと、電車で自転車が載せられると良いとずっと思っています。</p>
塩澤委員	<p>走行環境整備の歩道の乗上部については、都市部はバリアフリー化で段差がないように整備していますが、中山間地域等では、まだ整備が遅れているところがありますので、引き続き、走行環境整備を進めていきたいと考えております。</p>
井熊委員	<p>ガイドの育成について御意見をいただき嬉しく思います。最終的にガイドで一番重要なのは、社会参加するということだと思っております。</p> <p>この社会参加は、平たく言うと、ガイドして喜んでもらい、多少なりとも対価をもらうことが、非常に重要だと思っております。</p> <p>それが、やる気に繋がって、皆さんのお役に立てるという意欲を持たせています。だから、そこを目指す中で、教育も含めて、例えばA級、B級というランクも含めて、何らかのその認定作業を進めて行ければ良いかなと。これが進んでいくと、いわゆるローカルツーリズムがそのままサイクルツーリズムへ繋がっていくかなと強く感じています。皆様の知見を御披露いただいて、そんな作業を進めていければと思っております。</p>
都築幹事長	<p>先ほどからガイドの話が出ておりますが、サイクルツーリズムのガイドが重要でございますので、計画内容を明確化してまいりたいと考えております。</p>
樋澤委員	<p>浜松市のレクリエーション協会でも市民サイクリングを年に3回ほど開催しております。その中で高速道路のサービスエリアで休憩を取ります。食事とトイレがあるためここで休憩をとりますが、自転車を停める駐輪場がありません。このため、バイクスタンドを整備していただくと利用し易くなりますので、是非よろしくお願</p>

委員	内容
	<p>したいと思います。</p>
宮内委員	<p>ガイド養成の提案が複数の委員からありましたが、ガイド付きツアーと並行して、セルフガイドのやり方があります。私も石垣委員が運営するレンタサイクルを何度か利用していますけど、わかりやすい英文で書かれた地図が用意されていて、それを利用してセルフガイド方式でサイクリングができるようになっています。</p> <p>静岡県内のレンタサイクルのインフラは全国トップレベルであるため、自転車の貸出時にルートと立寄り場所をナンバリングした地図やGPSデータ等のツールを配布すれば、セルフガイドが成立します。ガイド付きツアーに加えて、このような方式でも良いと思います。</p>
神戸委員	<p>ツーリズムは施設的环境整備が重要だと感じています。宿泊施設、観光施設の整備、あと矢羽根等の整備が進んでいますがまだ未整備であるところもあります。</p> <p>施設整備を行うと共に、現在、英語ができるガイド養成を実施しています。自転車まではできていないが、まずは英語ができるガイドを養成し、そのあと様々なアドベンチャーに対応できるガイドを養成するという形でガイドの育成をできればと考えています。</p> <p>また、その前段階として、実態がどうなっているのか、その辺の調査をしっかりとやっていただければと思っています。</p>
溝畑委員	<p>屋久島では、生活できるよう通訳ガイドが1回20万30万でやっていた。このガイドをしっかりと進めて行くには制度を作り、静岡版の試験を実施して、時間単位の価格も決めていけば、多分ガイドになりたいという人がいるのではと思います。</p> <p>このような制度はありますか。</p>
大石委員	<p>ガイドの制度については、国や官公庁が認めた制度はありませんが、いくつかの任意団体がガイド養成等を実施しています。しかし、安全面のガイドが多くインバウンドや観光向けのガイドという観点ではありません。</p> <p>外国人向けガイドの検定であると、観光全体の話になりますので、まずは観光全体の基準があった上で、自転車のガイドなど上乘せするようにしないとうまくいかないと思います。</p> <p>まずは、地元でノウハウを持つサイクリストがローカルガイドとして本物のガイドをサポートし、その中から本当のガイドになって増えていく。それから、英語が喋れるような人や日本語が喋れる外国人のガイドと連携した対応を行っていくことが、まず第一歩だと思っています。</p>
都築幹事長	<p>サイクリングに限らず、インバウンドガイドは県としても実は養成してます。先ほど神戸委員から話になったのも、その一環として</p>

委員	内容
	<p>いろいろアドベンチャーを含めたガイドを、富裕層向け特にインバウンド向けのガイドが必要になってきますので、県としても整理してるところです。</p>
花田委員	<p>都築幹事長と神戸委員から話がありましたが、インバウンド、富裕層向けの少しレベルの高いガイド養成を今年度静岡県観光協会と一緒に育成を始めたところでは、</p> <p>今後、アドベンチャーのテーマを各年決めて数人ずつガイドの養成を進めて行きます。</p> <p>溝畑委員からありました基準は今後の課題として進めて行ければと思います。</p>
中山委員	<p>通常の通訳案内士がアクティビティガイドも行うのは無理だと思います。</p> <p>アクティビティで、インバウンド向けにスキーや山岳ガイドは、シーズンがあるので、空いた期間の仕事でサイクリングガイドが選択肢としてあるようです。</p> <p>アクティビティガイドは、バラバラで国家資格がなくまとまりがありません。国家資格にするのも難しいです。</p> <p>静岡県内のローカルガイド、静岡県にはマリンもありますので、スポーツ系のアクティビティガイドの要素はいると思います。</p> <p>例えば、富士山行って、サイクリングして、海に行くとトータルコーディネートできるガイドがいると、付加価値が高くなって滞在時間も増えて、高いガイド料金が取れるのではないかと思います。</p>

令和7年度 静岡県サイクルウェルビーイング推進会議  
第2回企画戦略幹事会

日時：令和8年2月20日（金）11:00～12:00

会場：静岡県庁別館9階特別第二会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

全体会のふり返り

… 資料1

次期静岡県自転車活用推進計画骨子（案）

… 資料2・3

今後の予定

… 資料4

3 閉 会

---

<配布資料>

- ・ 次第
- ・ 名簿
- ・ 座席表
- ・ 全体会のふり返り … 資料1
- ・ 計画策定の進め方 … 資料2
- ・ 次期自転車活用推進計画骨子（案） … 資料3
- ・ 今後の予定 … 資料4
- ・ 次期自転車活用推進計画イメージ … 参考資料1
- ・ AIカメラ … 参考資料2
- ・ 会議設置要綱 … 参考資料3
- ・ 幹事会運営要領 … 参考資料4

## 委員名簿

### 名簿

#### 令和7年度 静岡県サイクルウェルビーイング推進会議 第2回企画戦略幹事会

No	所属	役職	氏名	出欠	備考
1	一般社団法人静岡県自転車競技連盟	代表理事	野 寺 信 朋	○	
2	株式会社ローカルトラベルパートナーズ	代表取締役	石 垣 裕 包	○	
3	公益社団法人静岡県観光協会	専務理事	神 戸 重 敏	○	
4	静岡県サイクリング協会	理事長	樋 澤 秀 高	○	
5	静岡県サイクルツーリズム協議会	代表理事	井 熊 正 浩	○	
6	静岡県スポーツゼネラルアドバイザー		溝 畑 宏	○	
7	日本スポーツツーリズム推進機構	シニア アドバイザー	中 山 哲 郎	○	
8	日本風景街道コミュニティ サイクルツーリズム研究委員会	顧問	宮 内 忍	○	
9	ヤマハ発動機株式会社 技術研究デザイン本部 新ビジネス開発部 企画1グループ	グループ リーダー	小 倉 幸 太 郎	○	
10	静岡県スポーツ・文化観光部	部長	都 築 直 哉	○	幹事長
11	静岡県スポーツ・文化観光部	参事 (スポーツ担当)	大 石 哲 也	○	
12	静岡県暮らし・環境部県民生活局 暮らし交通安全課	課長	高 橋 勝	○	
13	静岡県スポーツ・文化観光部観光政策課	課長	花 田 淳	○	
14	静岡県交通基盤部道路局道路企画課	課長	塩 澤 孝 洋	○	
15	静岡県警察本部交通部交通企画課	課長	高 橋 文 典	○	